

学校だより しゅんいん

平成 30 年 4 月 10 日 (火)
第 1 号

相模丘中学校

「コミュニケーションは思いやり」

校長 矢澤 真司

4月5日に13名の新しい先生方と179名の新入生を迎えて新チーム相中がスタートしました。相模丘中の生徒と教職員あわせて542人の出会いは、世界の人口約70億人から考えれば奇跡の出会いと言っても過言ではないと思います。ぜひ、この出会いを大切にして、相模丘中を自他共に認めるすばらしい学校にしていきたいと思います。そのためには、一人ひとりがチーム相中のためになることを一生懸命取り組んで行くことが大事ですね。

日本経団連（日本の企業の中心的な組織）が毎年行っている新入社員に求める能力のベスト5は、（2017年度調査）

- 第1位・・・コミュニケーション能力
- 第2位・・・主体性
- 第3位・・・チャレンジ精神
- 第4位・・・協調性
- 第5位・・・誠実性

ということです。特にコミュニケーション能力については、ただ単に会話をするということではなく、「同世代だけでなく、年が違う相手とも話を合わせることができる」「まず人の意見を聞いてから自分の意見を言う」「立場の違う人の意見、価値観が違う人の意見を否定することなく、その人がなぜそう考えるかを分析する」ことができることがコミュニケーション能力として要求されるようです。このことから、コミュニケーション能力の基本は「思いやり」だと思います。お年寄りと接するとき・・・。小さい子どもと接するとき・・・。元気のない友達と接するとき・・・。困っている仲間と接するとき・・・。

だからこのチーム相中の中学3年間で社会で必要とされる力を少しずつつけ、一步一步夢の実現に近づいていくように努力していきましょう。まずは、話をしっかり聴くことから始めませんか。



(アスファルトに咲いたんぽぽ)



(入学式の様子)

平成30年度の重点の取り組み

① 積極的な生徒育成の継続・進化

- ・生徒会を中心とした、生徒主体の取り組みや活動を継続・進化させ、秩序とチームワークを重視した学校づくりに努めます。特に委員会活動を積極的に取り組むようにします。
- ・学級＝学年＝学校の連携を強化し、生徒の力で課題解決に取り組む意識と力を高めるよう、継続・進化させる。
- ・褒める指導を中心に、生徒のモチベーションを高めると共に、自分たちの学校に自信と誇りを持つよう取り組みます。
- ・一人ひとりの生徒の状況に応じた支援をできる範囲で推進します。

② 「平和教育」「心の教育」の継続・進化

- ・世界平和に限らず班の平和、学級の平和、チームの平和等、平和について考えさせる機会を作ります。体験活動や講話等を活用し、心に響く指導になるように仕掛けます。
- ・いじめがいけないことは100%理解していながらも、その現象はなくなりません学校という小さな社会生活の中で、「自分とは」「他人とは」「いのちとは」「平和とは」を自問自答できるように、心揺さぶる指導を通し心豊かな社会性、人間性を育成する中で少しでもいじめの現象をなくしていきます。また、広島島の修学旅行に向けた平和教育をそれぞれの学年で推進します。
- ・道徳の授業についても、学級だけにとどまらず、学年道徳、学校道徳というとらえ方をすることも必要です。また、教科化に向けて研究研修を進めていきます。

③ 学習意欲を高め、学力向上に努める

- ・授業のねらい、目標を明確にする中で学習の見通しを持たせ、意欲を高めさせます。
- ・キャリア教育を推進し将来の目標を明確に持ち、学習に対する意欲が持てるように指導します。
- ・学び合いをベースに授業への参加意識を高め、確かな学力につなげる創意工夫を凝らします。
- ・思考力、判断力、表現力を身につけるだけでなく、活用まで高められるよう取り組みます。
- ・授業改善については、校内研究を中心に授業検討会を充実、継続・進化させます。

④ 小中連携教育の一層の推進

- ・9年間の義務教育の一貫性を重視し、学習に取り組む姿勢や学校生活でのルールやマナーについて小中の共通した指導を考えます。
- ・あいさつ運動をベースに小学校の児童会と中学校の生徒会の繋がりを強化し、9年間の継続した取り組みを考えます。
- ・日頃からの情報連携を強化し、スムーズな中学校への移行になるよう取り組み、児童生徒指導の連携強化を具体的に実践します。